

5. 精神障害者生活状況調査（入院患者・専門職）結果

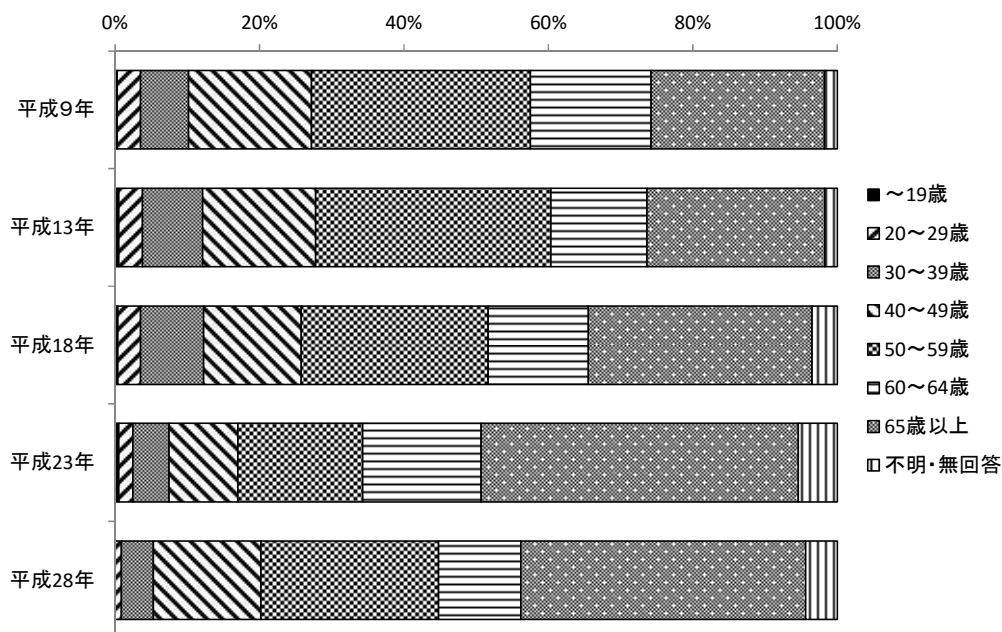
●年齢（本人調査）

年齢構成は、「50～59歳」が24.6%と最も高く、次いで「70歳以上」が21.9%、「65～69歳」が17.5%などと続いている。

問1 年齢

（単位：％）

	平成9年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
～19歳	0.3	0.5	0.4	0.5	0.0
20～29歳	3.2	3.3	3.1	2.0	0.9
30～39歳	6.7	8.3	8.8	5.0	4.4
40～49歳	17.0	15.6	13.5	9.5	14.9
50～59歳	30.3	32.5	25.9	17.3	24.6
60～64歳	16.7	13.3	13.9	16.4	11.4
65～69歳	24.0	24.6	14.0	9.2	17.5
70歳以上			17.0	34.7	21.9
不明・無回答	1.8	1.7	3.5	5.4	4.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	600	698	719	444	114



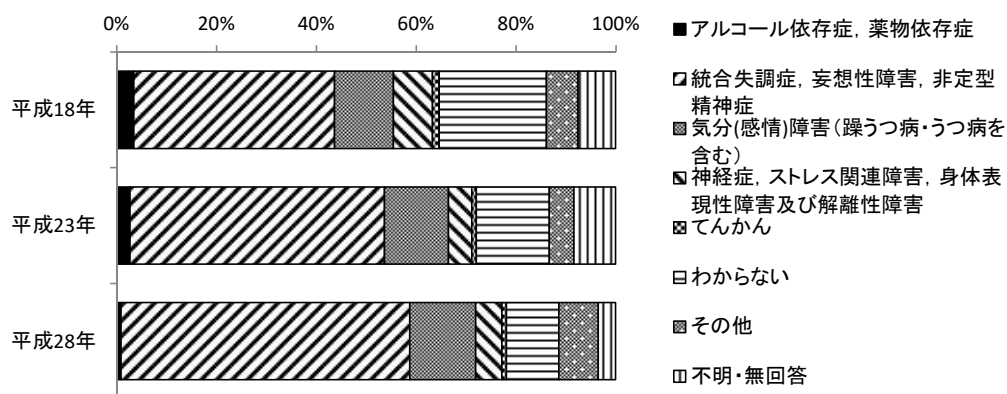
●精神疾患の種類等（本人調査）

精神疾患の種類については、「統合失調症，妄想性障害，非定型精神症」が57.9%で最も多く，「気分（感情）障害（躁うつ病・うつ病を含む）」が13.2%，「神経症，ストレス関連障害，身体表現性障害及び解離性障害」が5.3%となっている。

問7 精神疾患の種類

（単位：％）

	平成18年	平成23年	平成28年
アルコール依存症，薬物依存症	3.5	2.7	0.9
統合失調症，妄想性障害，非定型精神症	40.2	50.9	57.9
気分（感情）障害（躁うつ病・うつ病を含む）	11.8	12.8	13.2
神経症，ストレス関連障害，身体表現性障害及び解離性障害	7.8	4.7	5.3
てんかん	1.4	0.9	0.9
わからない	21.4	14.6	10.5
その他	6.4	5.0	7.9
不明・無回答	7.5	8.3	3.5
合計	100.0	100.0	100.0
n	719	444	114

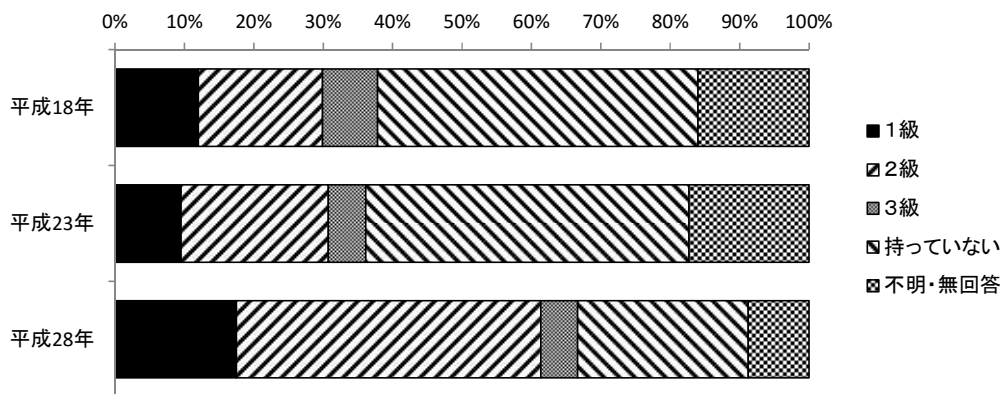


精神障害者保健福祉手帳の等級については、「1級」が17.5%、「2級」が43.9%、「3級」が5.3%、「持っていない」が24.6%となっている。

問9 精神障害者保健福祉手帳の等級

(単位：%)

	平成18年	平成23年	平成28年
1級	12.0	9.5	17.5
2級	17.9	21.2	43.9
3級	7.9	5.4	5.3
持っていない	46.2	46.6	24.6
不明・無回答	16.0	17.3	8.8
合計	100.0	100.0	100.0
n	719	444	114

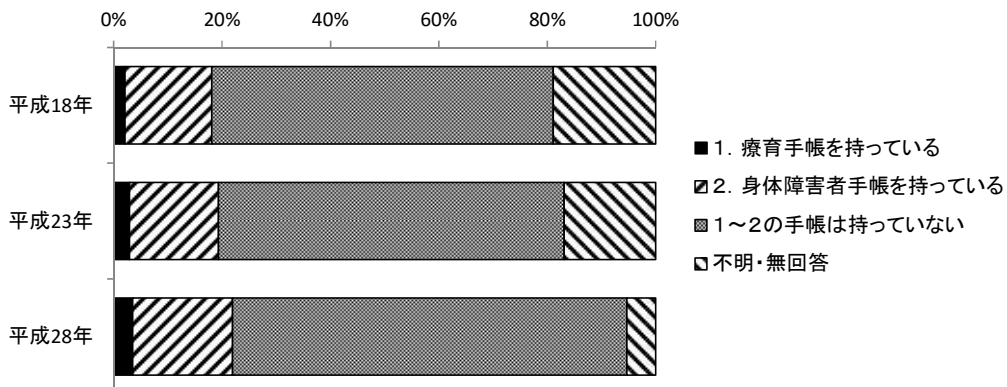


身体障害者手帳等の有無については、「1～2の手帳は持っていない」が72.8%で最も多くなっている。次いで「身体障害者手帳を持っている」は18.4%、「療育手帳を持っている」は3.5%と続いている。

問10 療育手帳・身体障害者手帳の有無

(単位：%)

	平成18年	平成23年	平成28年
1. 療育手帳を持っている	2.1	2.9	3.5
2. 身体障害者手帳を持っている	16.0	16.4	18.4
1～2の手帳は持っていない	63.0	63.7	72.8
不明・無回答	18.9	16.9	5.3
合計	100.0	100.0	100.0
n	719	444	114



●医療費の状況（本人調査）

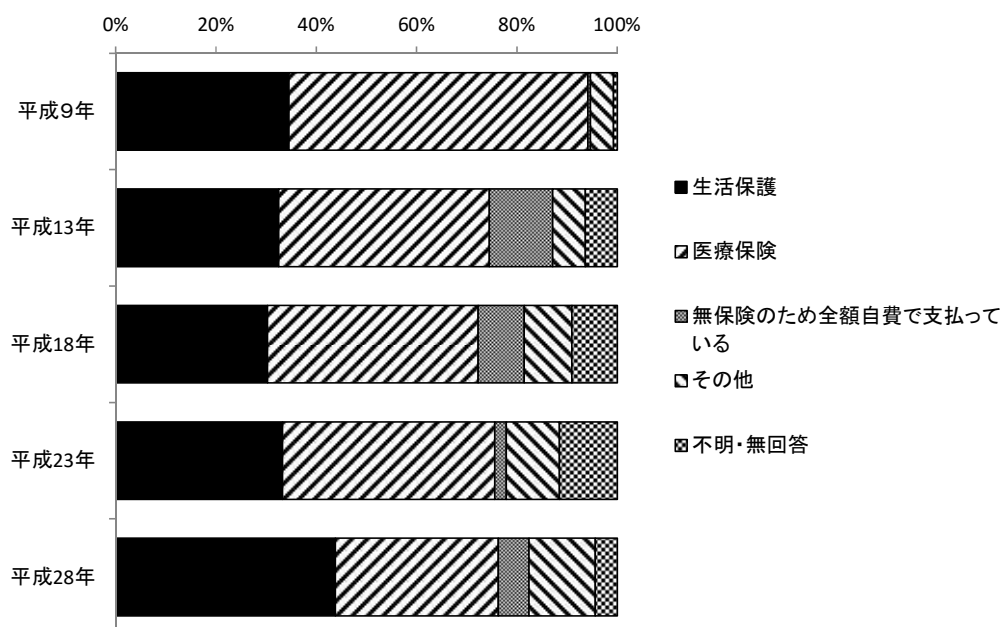
現在の医療費については、「生活保護」が43.9%で最も多く、次いで「医療保険」が32.5%となっている。

問6 医療費負担の状況 *

(単位：%)

	平成9年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
生活保護	35.2	33.0	30.3	33.3	43.9
医療保険	60.8	42.6	42.0	42.3	32.5
無保険のため全額自費で支払っている	0.5	12.8	9.2	2.3	6.1
その他	4.7	6.6	9.5	10.6	13.2
不明・無回答	0.7	6.4	9.0	11.5	4.4
合計	101.9	101.4	100.0	100.0	100.0
n	600	698	719	444	114

* 平成9年、13年は複数回答



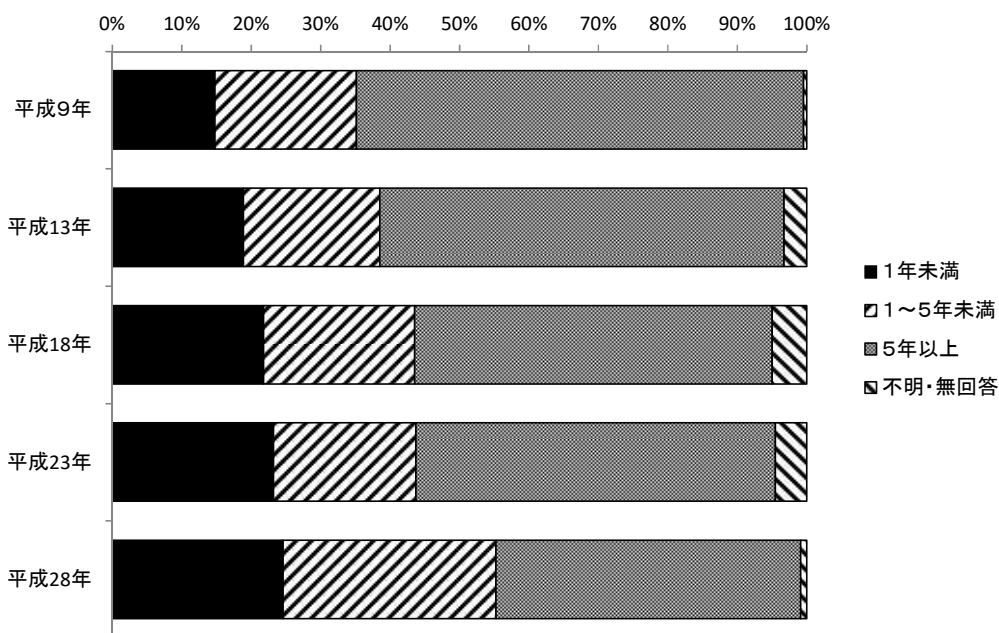
●入院期間（本人調査）

入院期間については、「5年以上」が43.9%を占め、最も多くなっている。次いで「1～5年未満」が30.7%、「1年未満」が24.6%となっている。

問8 入院期間

（単位：％）

	平成9年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
1年未満	14.8	18.9	21.8	23.2	24.6
1～2年未満	20.3	19.6	7.0	8.8	12.3
2～3年未満			4.9	4.7	5.3
3～4年未満			5.0	4.3	7.0
4～5年未満			4.9	2.7	6.1
5年以上	64.3	58.2	51.5	51.8	43.9
不明・無回答	0.5	3.3	5.0	4.5	0.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	600	698	719	444	114



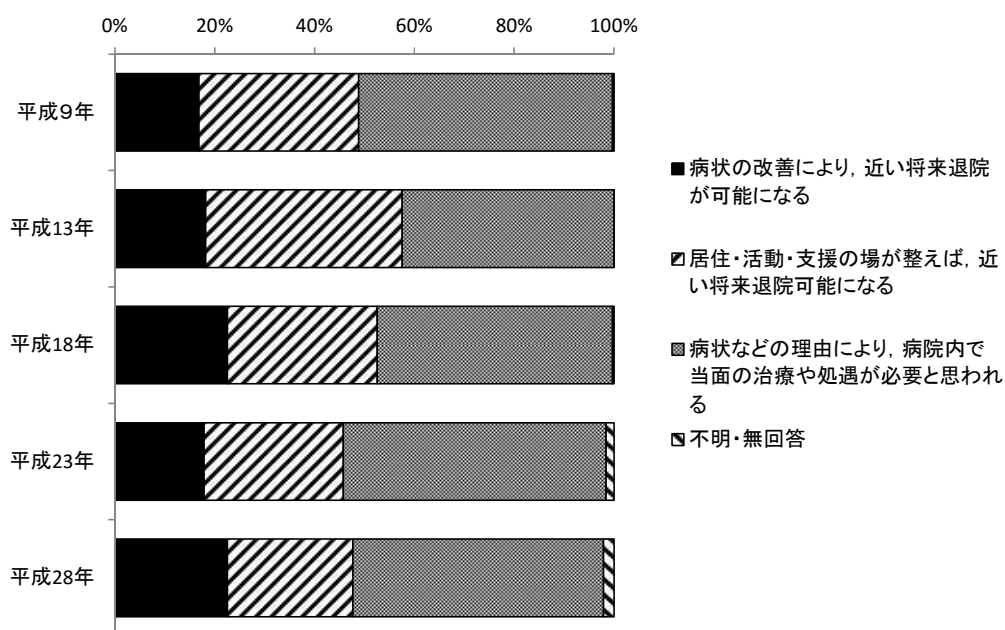
●退院の可能性（専門職調査）

入院患者の退院の可能性については、「病状などの理由により、病院内で当面の治療や処遇が必要と思われる」が50.3%で最も多く、次いで「居住・活動・支援の場が整えば、近い将来退院可能になる」が25.1%、「病状の改善により、近い将来退院が可能になる」が22.6%となっている。

問1 退院の可能性

（単位：％）

	平成9年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
病状の改善により、近い将来退院が可能になる	16.8	18.2	22.5	17.9	22.6
居住・活動・支援の場が整えば、近い将来退院可能になる	32.0	39.4	30.0	27.9	25.1
病状などの理由により、病院内で当面の治療や処遇が必要と思われる	50.8	42.3	47.1	52.7	50.3
不明・無回答	0.3	0.1	0.3	1.6	2.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	600	698	719	448	195



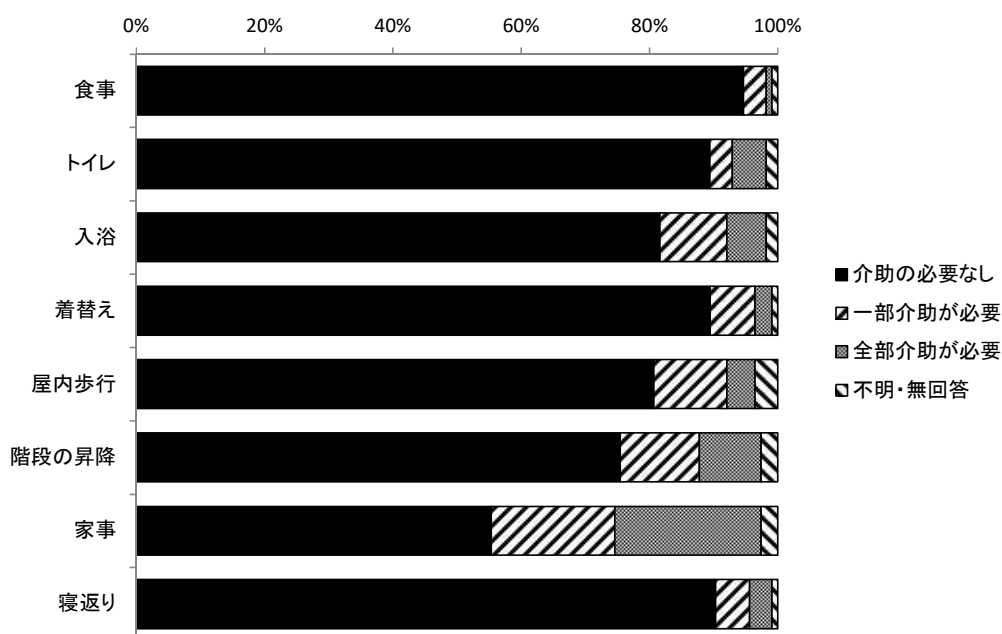
●生活の状況（本人調査）

入院患者の日常生活動作（IADL）の中で，“何らかの介助が必要”（一部介助が必要＋全部介助が必要）である人の割合が高いものは、「家事」で42.1%，次いで、「階段の昇降」が21.9%，「入浴」が16.6%と続いている。

問 1 2 日常生活動作の状況

（単位：％）

	食事		トイレ		入浴		着替え		屋内歩行		階段の昇降		家事		寝返り	
介助の必要なし	94.7		89.5		81.6		89.5		80.7		75.4		55.3		90.4	
一部介助が必要	3.5	4.4	3.5	8.8	10.5	16.6	7.0	9.6	11.4	15.8	12.3	21.9	19.3	42.1	5.3	8.8
全部介助が必要	0.9		5.3		6.1		2.6		4.4		9.6		22.8		3.5	
不明・無回答	0.9		1.8		1.8		0.9		3.5		2.6		2.6		0.9	
合計	100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0	
n	114		114		114		114		114		114		114		114	



●退院後に必要な支援（本人調査・専門職調査）

退院後、最適だと思われる生活の場については、本人調査・専門職調査とも、「一人暮らしができるアパート・公営住宅など」が最も多くなっている（本人40.4%、専門職34.4%）。また、両調査とも、2番目に多い項目は「家族と一緒に自宅」（本人27.2%、専門職26.9%）、3番目に多い項目は「共同で生活を行い、介護や日常生活の支援を行う施設（グループホーム）」（本人7.9%、専門職19.4%）となっている。

問19・問2 退院後に最適だと思われる生活の場

（単位：％）

	本人	専門職
家族と一緒に自宅	27.2	26.9
一人暮らしができるアパート・公営住宅など	40.4	34.4
共同で生活を行い、介護や日常生活の支援を行う施設（グループホーム）	7.9	19.4
障害のある人が介護を受けながら生活できる施設（施設入所支援）	2.6	6.5
障害のある人が、老後、安心して生活できる老人ホームなどの施設	7.0	11.8
その他	6.1	0.0
不明・無回答	8.8	1.1
合計	100.0	100.0
n	114	93

